



浮気の代償
～今日も妻は
あいつのところに行く～

洋介の妻
遠藤(えんどう)
しほり



遠藤 洋介



しほりの浮気相手
新崎 直哉



直哉の妻
新崎 ミサコ



あつ、やあ、
あはあああ……っ！

気持ちいいかい？

気持ちいいい……
凄くいいわっ……んっ！

あ、ああっん……
そこいいい……
洋介さんっ！

ああ、俺も
きもちいいよ！
ミサコっ……！！

ヌチュ

グチュ

ブルン

ブルン

んっ

ま

彼女とは俺の妻ではない
彼女相手のミサコだ
彼女とは俺の妻ではない
彼女相手のミサコだ
取引先で出会った関係
夫との性行為に
不満があるらしく
欲求不満だったらしい

実のところ俺も同じく妻とのセックスがうまくいってない俺が下手なのか妻は感じてはくれないのだからで事務的で不満が募るばかり

妻と違い彼女ミサコは俺のペニスで悦び善がる男として満たされてる幸福感を味わえる妻には申し訳なく罪悪感がある

だが安心して身体を委ねられる相手の捌け口がなければ仕事も上手くないかないのだ

ズッ

ズッズッ

あっ、あんっん!
は、激しいい
あああ……!!

んっん

ブルン

ブルン

んっ
やあ……! ああ……だめっ!
んっ……!!

あつはあはあつ
もう出そうだ

うあっ……中に……

えっ？

お願い
中に出してえ……！

でも……
良いのから？

うんっっ……！
大丈夫だからっ
中にぶちまけてええっ！

パルン

パチュニ

パルン

パチュニ

人の妻に中出しを催促され
苛烈な痺れが脳に達し
熱い膣内に無責任な
射精を果たした

くう……

蜜壺の肉壁が縮小し
ペニスを締め付け
残りの精子をも
絞りだそうと
しているのがわかる

大よ……

ドクニ

ドクニ

ふぁ……あ……ん……



粘りのある熱い蜜絡めた
ペニスを引き抜くと
蜜壺からは濃い精子が
塊の様な濃い精子が
吐き出された

はあはあ
こんなにしてしまった

思いもよろなかった発言に
戸惑ったものの
他人の妻に
中だしをしてしまった

どろろぞ
ゴビゴビ

今までに
味わったことがない
征服感を奪うのが
こんなにも
高揚感があるものなのか

はあはあ



この関係も一年
くらいになるだろうか

ミサコは良い女だ
体の相性も良いし
いくら抱いても飽きはしない

だが、やはり妻の方を

愛してるのだ

体が不一致でも

心を満たしてくれるのは
妻一人だけ

身も心も

この充実した日が
長く続けられたいが

人生はそう上手いくとは限らず
相方の旦那に
不倫関係がバレてしまった

そうか、うんわかった
いやっ妻には言わないでおくよ

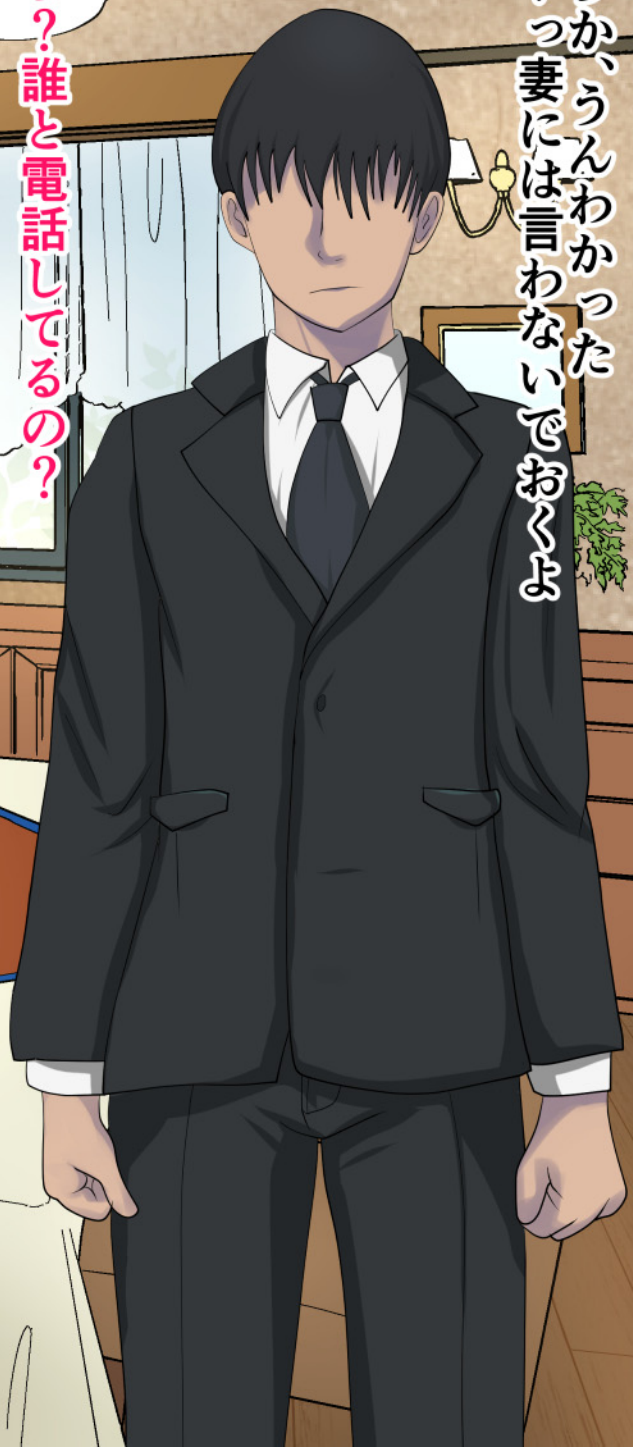
あら？誰と電話してるの？

あついや会社からの電話で
明日会社に行くことになったんだ

明日は休みなのに
弁当用意しときますね

いやっ良いんだ
午前中には終わるから

そうですか、わかりました



.....

どうしたんだい？

いえ、何だか顔色が悪いので

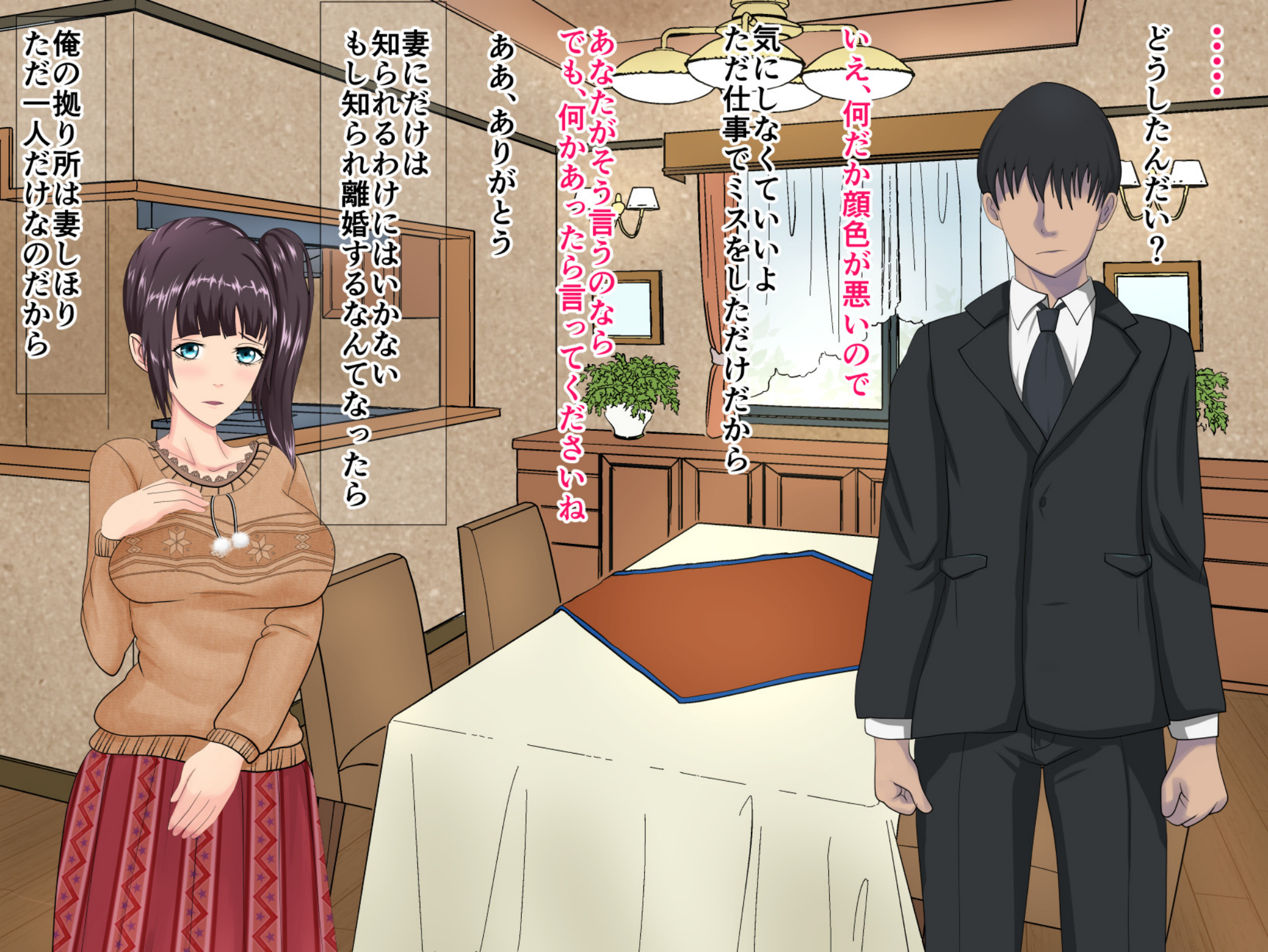
気にしなくていいよ
ただ仕事でミスをしたただけだから

あなたがそう言うのなら
でも、何かあったら言うってくださいね

ああ、ありがとう

妻にだけは
知られるわけにはいかない
もし知られ離婚するなんてなったら

俺の抛り所は妻しほり
ただ一人だけなのだから



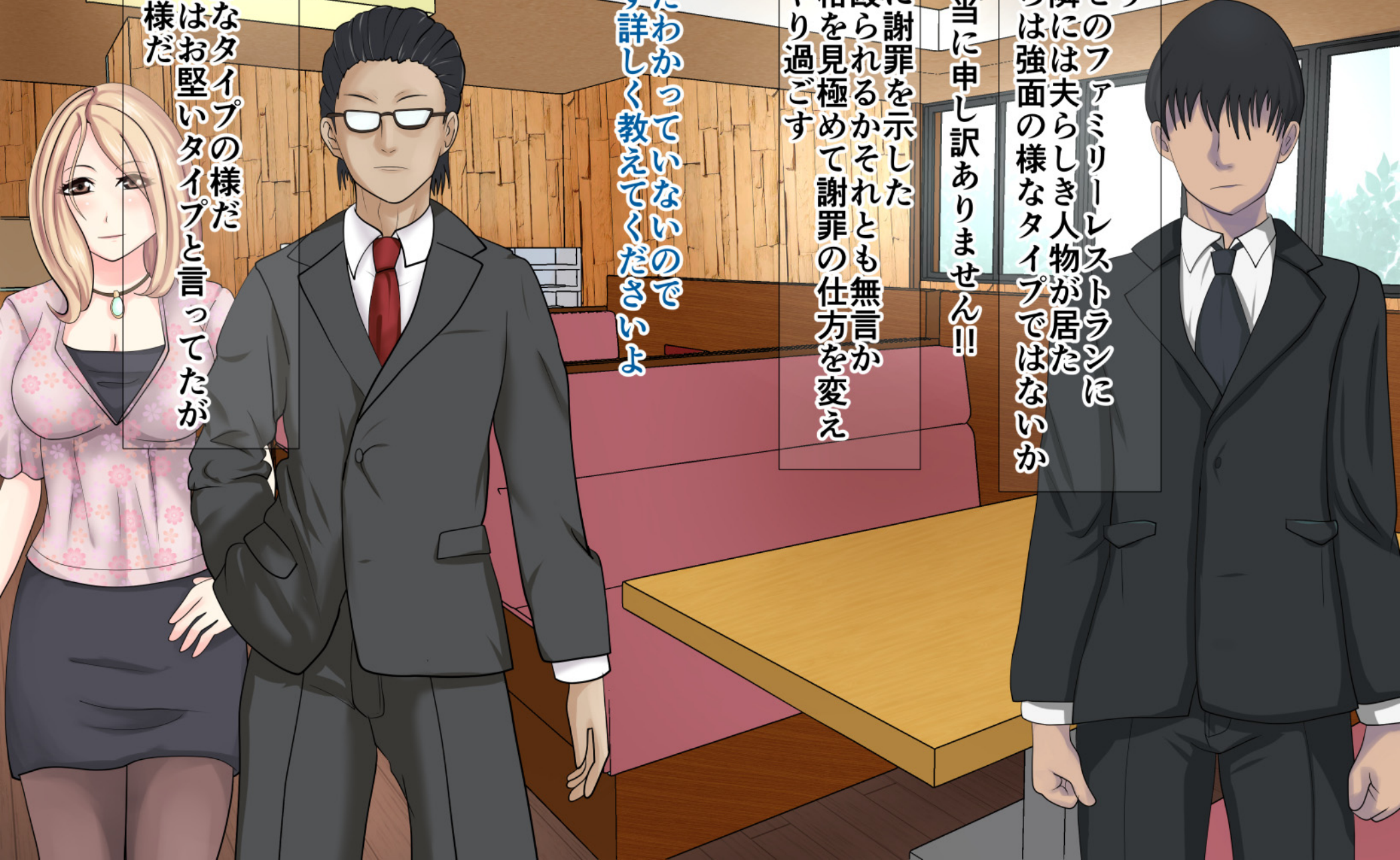
手汗を握り
待ち合わせのファミリールレストランに
ミサコの隣には夫らしき人物が居た
見た目からは強面の様なタイプではないか

この度、本当に申し訳ありません!!

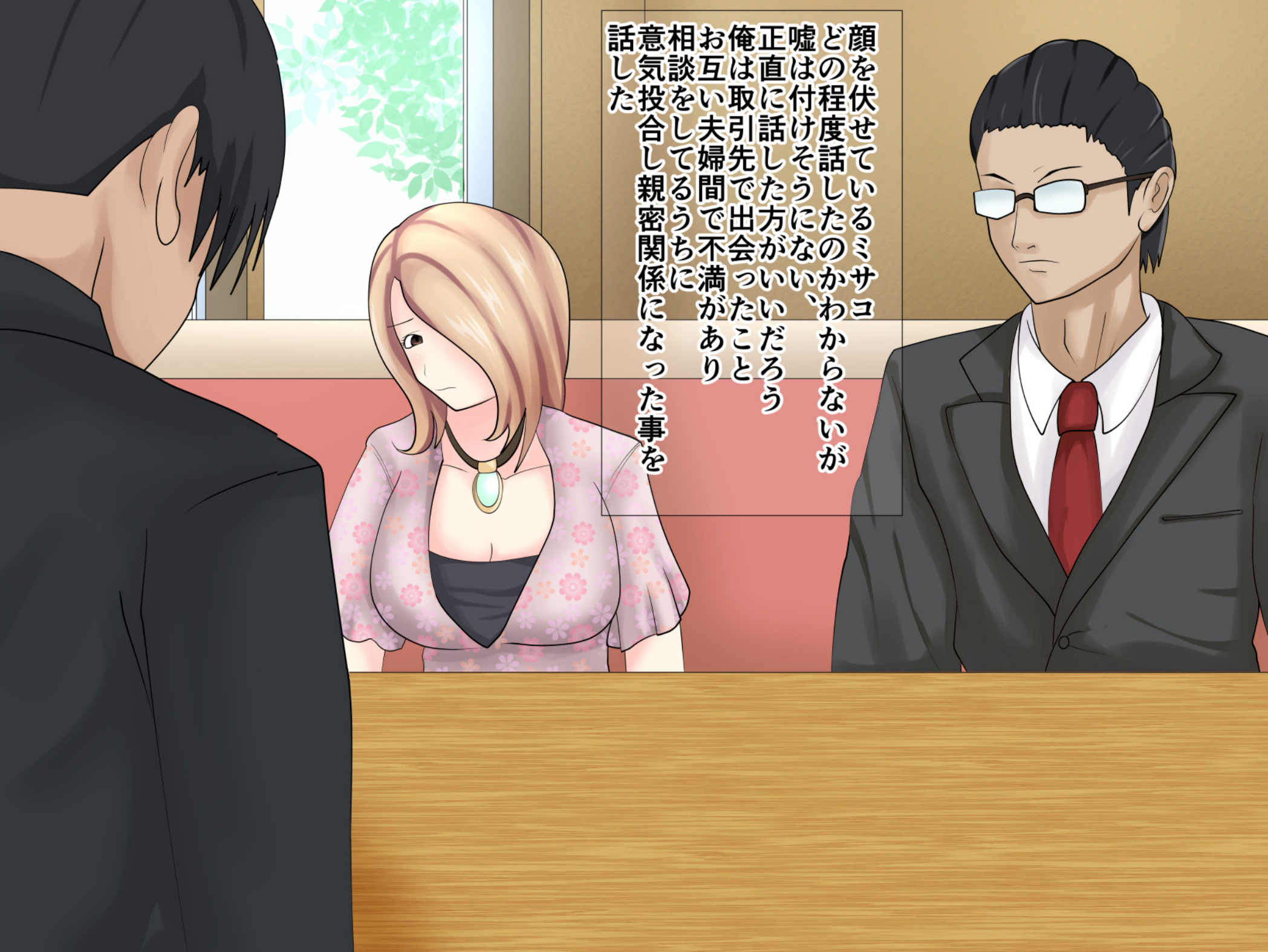
開口一番に謝罪を示した
いきなり殴られるかそれとも無言か
旦那の性格を見極めて謝罪の仕方を変え
この場をやり過ごす

経緯がまだわかっていないので
取り合えず詳しく教えてくださいよ

どうやら
旦那は冷静なタイプの様だ
ミサコからはお堅いタイプと言ってたが
その通りの様だ



顔を伏せているミサコ
どの程度話したのか、わからないが
嘘は付けそうにないだろう
正直に話した方がいいだろう
俺は取引先で出会ったこと
お互い夫婦間で不満があり
相談をしてるうちに
意気投合し親密関係になった事を
話した



なるほど、
だいたいこの事はわかりました
妻から聞いてた通りですね

初耳なのは
一年間も関係を
続けていたことぐらいですか

あの

なんですか？

不快な質問で
申し訳ありませんが
どうやってわかったんですか

俺たち二人はバレないように
ホテルの出入り時間は別々にしていた
デートだって食事くらいなものだ
なぜそれがバレてしまったか
知りたかったのだ

探偵ですよ。これを

彼が見せてくれたのは
同じ部屋から出てきたミサコと俺の姿だった
ホテルの外に待ち伏せしているものばかりだと
思っていたが

私からも質問良いですかね
今日は奥さん一緒ではないんですか

あっ……妻には言ってます

そうですか

ミサコさんとは二度と会いません

慰謝料も払います

許してまらえませんか

慰謝料というのはどれくらいですか

百万円ほどで

冷静なタイプは
事を荒げたくない奴に多い
それなりの誠意と大金を見せれば
出るところ出ずとも事なかれで
やり過ごせるだろう

はっそんな額で許されるとでも

え？

これ以上の額は
お互い穩便に済ませましょう

穩便に？加害者が
言うセリフとは思えませんね

けれど事を大きくすると
会社側に知らてしまう可能性も

一千万

はい？

一千万用意してください

ちよつちよつと

ふざけないでください

そんな額払えるわけじゃないじゃないですか

私から最初に誘ったんです
だからこれ以上のことは

なら出るところ出て

決着をつけるしかありませんね

そつそんな

裁判沙汰になったら会社にも
妻にも知られてしまう事に

いっ今は無理ですけど
少しづつお支払いしますので
どうか訴えることはやめてください

さっきの質問は俺が妻に知られたくないことを見破るためだったのかそれを知って額を大きく見積もりに来やがった裁判沙汰だけは何とか防がないとしかし、どうすれば……くそっ……!

いやなら私と同じ気持ちになってもらうってのはどうですか？

どういう意味ですか

あなたの奥さんと私が浮気するんですよ

はあ!?

あなた冗談言うのもやめてください

冗談なんかじゃないこの人だけに罰をさせるわけにはいかないミサコにも私の気持ち分かせたいしな

いやよ私は……

これは一種のゲームだルールを作りましょう

あなたの奥さんが
私の行為振り向かず
好意も示さなかつたら
賠償もしなくて良いし
訴えることもしませんよ

!!
それは本当ですか!?

勿論だ。

もう一つのルールは
私が奥さんと浮気しても
浮気を指摘しないことです
知らないふりをしてください

。。。。

あと、報告は随一しますので
メールの内容は必ず見る事
いいですね
期限は一年間です

わかりました。
その条件受け入れます

悩まないんですね
奥さんが
浮気しないと
自信のあらわれかな?

。。。。

ふふ、まあ良いでしょう
そう言えば自己紹介まだでしたね

これは私の名刺です
メールが入ってるので
登録しておいてくださいね

目に入ってきたのはよく知る名前

獅子王銀行
俺が務めている

企業が融資してくれたり

取引先を

紹介してくれてる

銀行でもある

新崎直哉どこかで

聞いたような

確か社長が...

では私達はこれで

あつすみません私の名前は

遠藤洋介

大学卒業後

ニュートラル社の営業部に勤めている

生まれも育ちも東京

奥さんとの出会いは大学のサークル

結婚して4年目で

お子さんはいない

あなたの周辺はすべて調べてある

なっ...

しほりさんに会うのが楽しみだよ

それでは

俺の妻の名前：・
探偵を雇って俺の情報ば
素っ裸にされてたのか

しかし、寝取られた腹いせに
ここまでやるか
真面目で堅い恨みも深い感じだ
つまるところ復讐か：・嫌な男だ
しほりが嘆くの無理はないな

何がゲームだ
あんな面白みもない人間
妻も苦手とするタイプだ

ふふ、一千万かどうなるかと思っ
たが
なんのことはなかったな
バカな男で助かったぜ



ただいまー

おかえりなさいあなた

お昼ご飯どうします？

昼は外でくったからいいや

まあ一人だけずるい

ははっそうだな

なら今夜は外で飯を食おうか

そのあとは

もうあなただったら



ペニスが固く妻の奥を突いてる気がする
あの男に抱かれる妻を想像し
感情が昂り何時もより妻の膣と
温もりを感じられる

んんっあ
はあはあ

そんな俺とは対照的に
妻は何時にも変わらない様子だ
事務的、演技の様うな
女の悦び方はしてない
妻はセックスが嫌いなのだろう

そろそろ中にだすよ

うん、きて……っ

んっ

ズッ
ズッ

ギッ

ギッ



きつく締まった膣肉に包まれた
肉棒の脈が強くうち
奥に精子を叩きつけた

とろろ
とろろ
とろろ

んんっ……!



何時もと違う
妻の恍惚した顔
もしかしたら妻も
感じていたのだろうか？

シホり久しぶりの
セックスどうだった

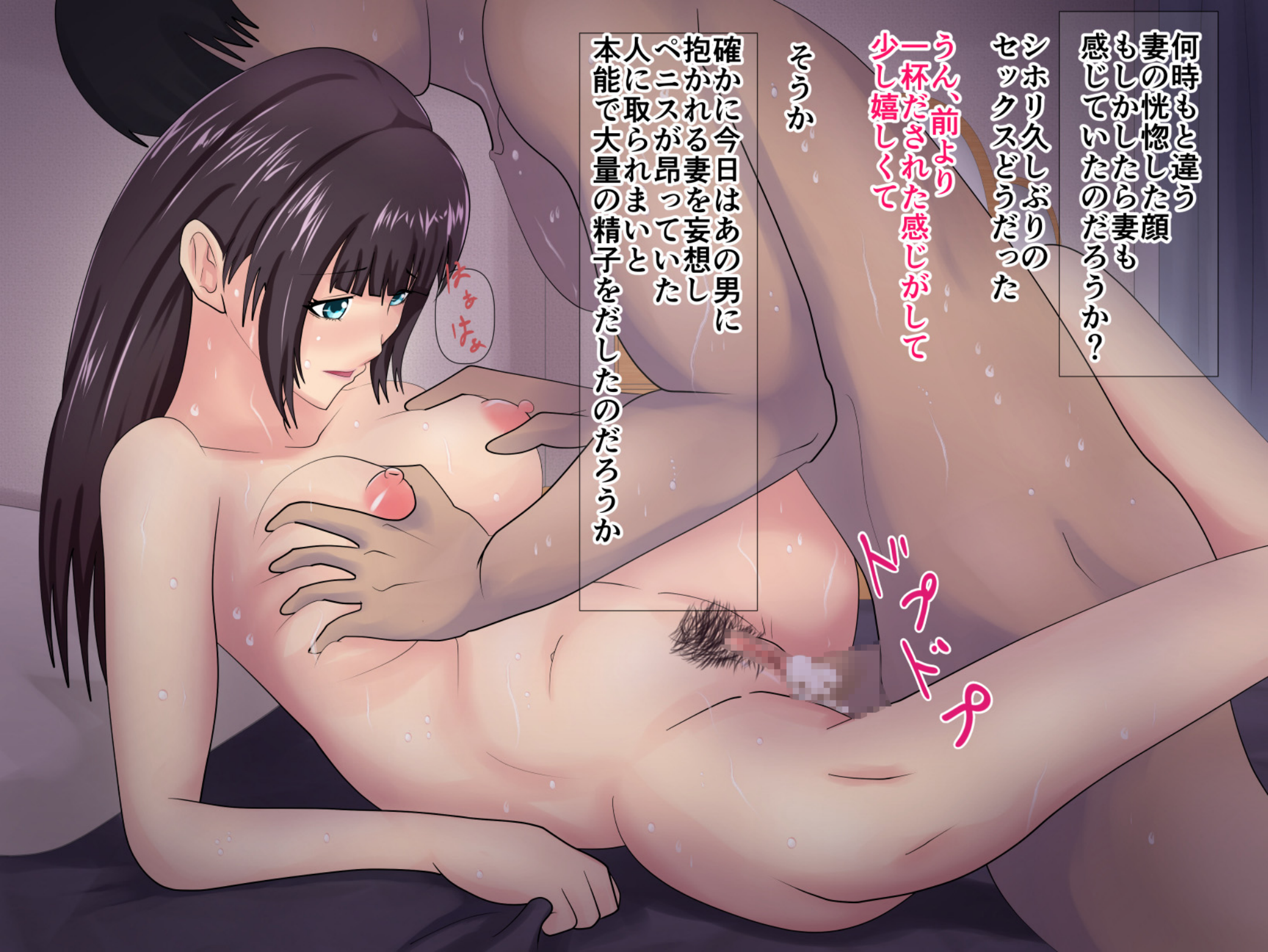
うん、前より
一杯だされた感じがして
少し嬉しくて

そうか

確かに今日はあの男に
抱かれる妻を妄想し
ペニスが高まっていた
人に取りまわると
本能で大量の精子をだしたのだろうか

赤もほみ

ド
ア
ド
ア
ア

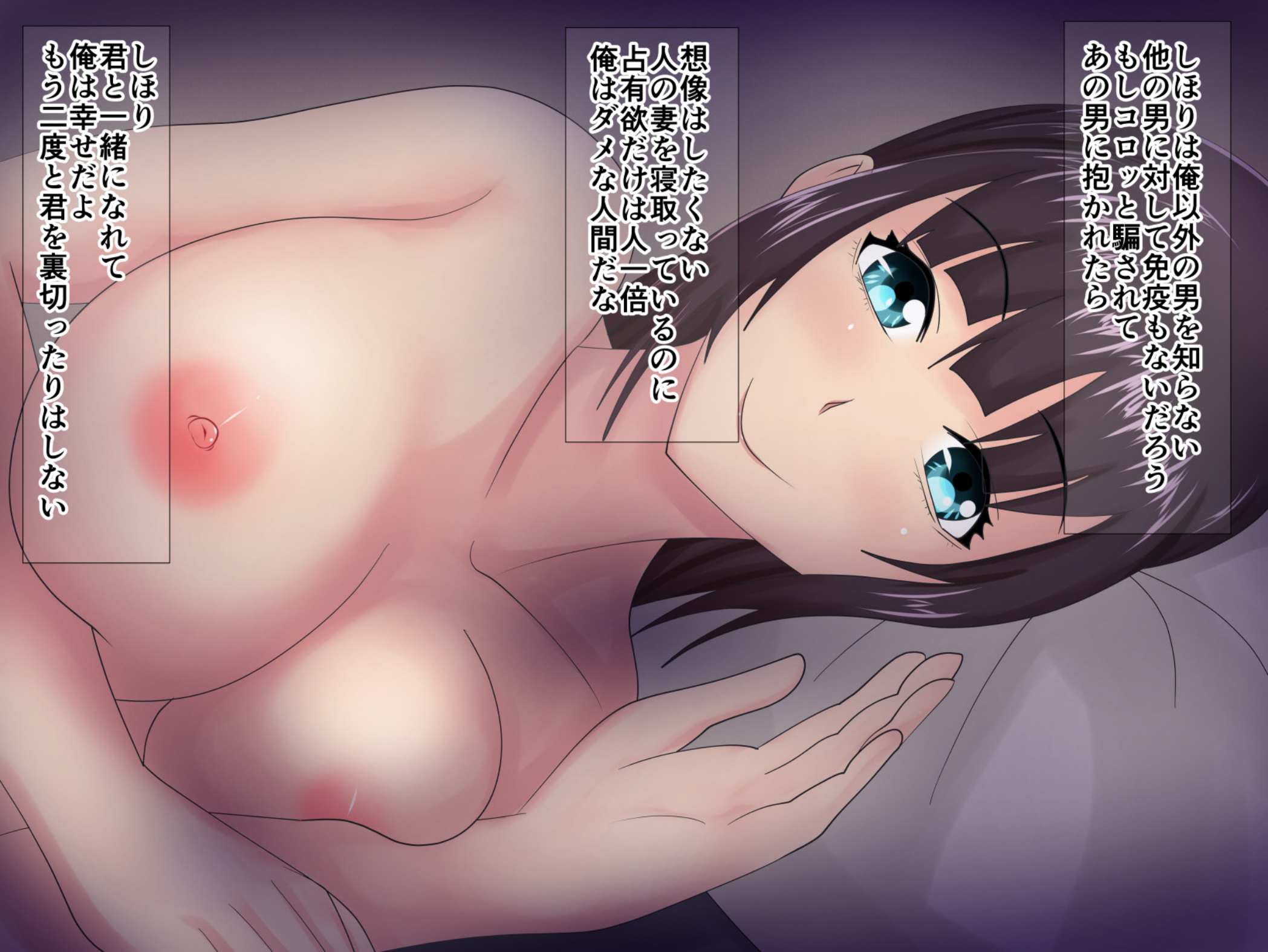


子供できたらいいね

そうだな
きつと出来るよ

妻は子供好きだ
恍惚したのは
セックスの気持ちよさではなく
膣内に出された精子の量
子供欲しさからだったようだ





しほりは俺以外の男を知らない
他の男に対して免疫もないだろう
もしコロッと騙されて
あの男に抱かれたら

想像はしたくない
人の妻を寝取っているのに
占有欲だけは人一倍
俺はダメな人間だな

しほり
君と一緒になれて
俺は幸せだよ
もう二度と君を裏切ったりはしない

あれから一ヶ月経った
妻の様子もこれと言って
変化が見られなかった

しほりパートに行くの？

ごめんなさい、急用が入って
でられなくなりました
代わりに行くことに

夕食には間に合いますから

そうか、気をつけてな

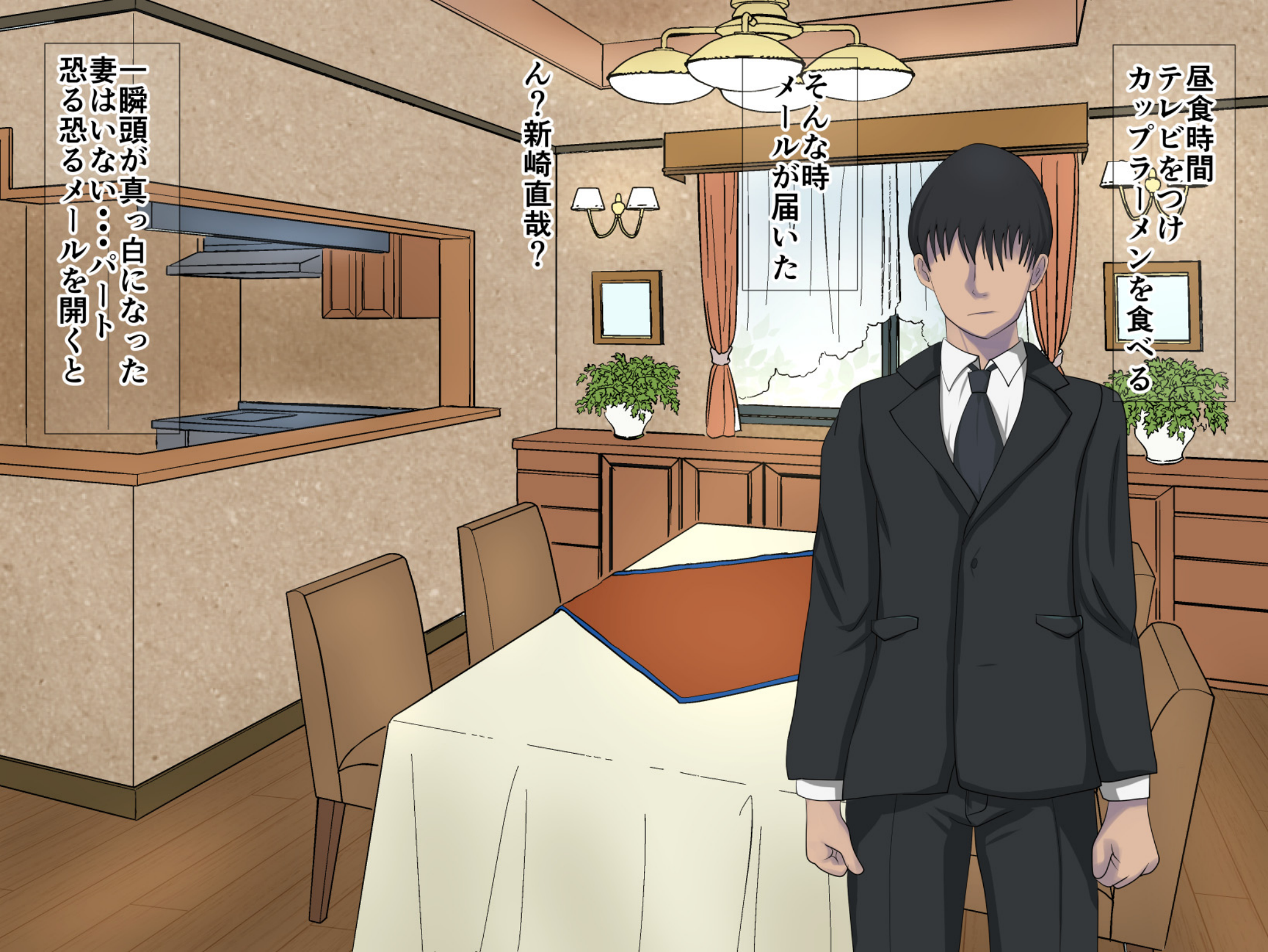


昼食時間
テレビをつけ
カップラーメンを食べる

そんな時
メールが届いた

ん？新崎直哉？

一瞬頭が真っ白になった
妻はいない……パート
恐る恐るメールを開くと



画像には
楽しく微笑んでいる
妻しほりの
食事してる画像だった
妻は俺に嘘を言って
あの男に会っていたのだ
いやっまさか
信じられない
しほりに限って
人を裏切るような
女性ではないのだから

疑心暗鬼に陥った俺は
真実を確かめるべく
パート先に
電話で確認することした

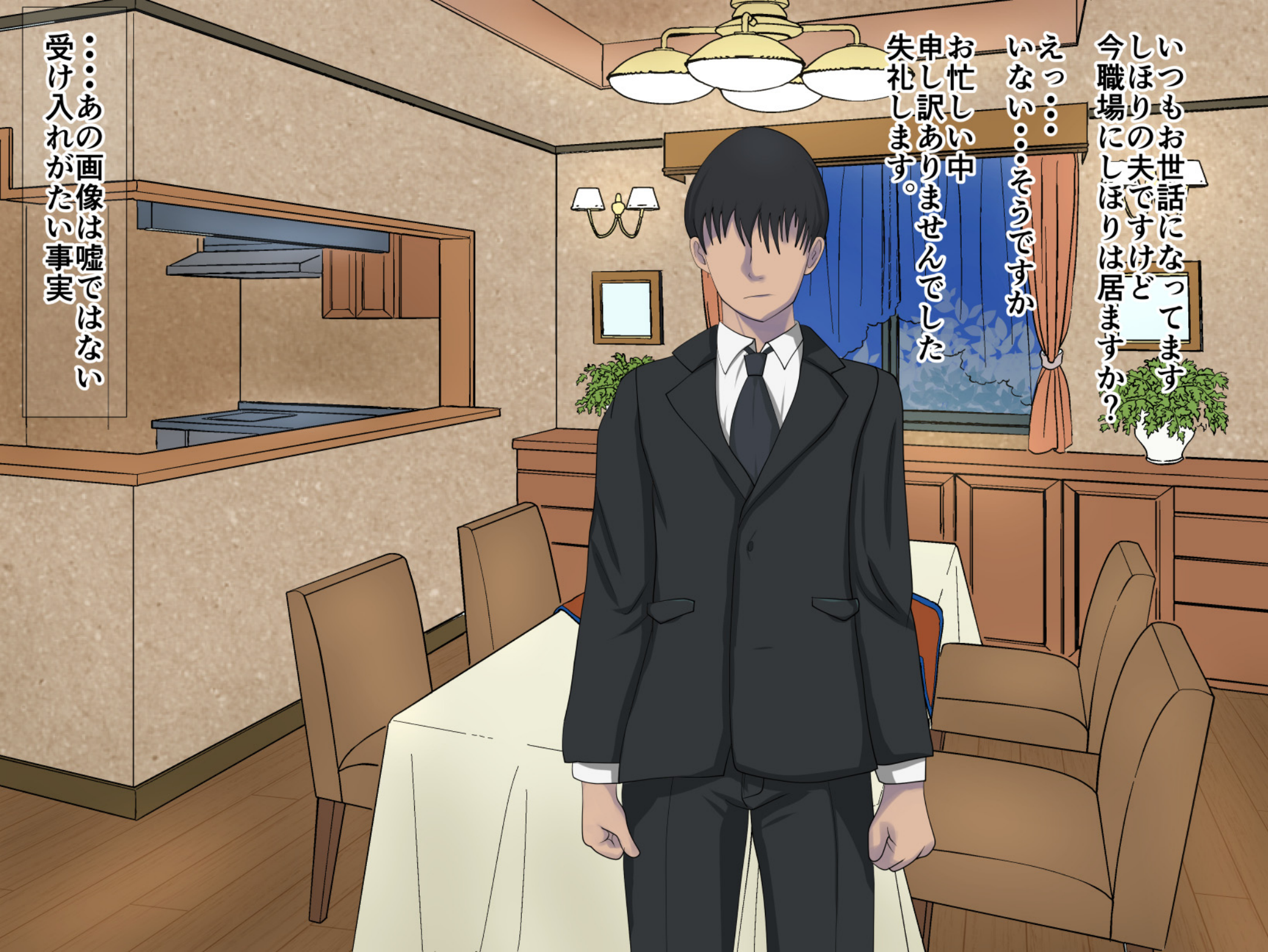


いつもお世話になってます
しほりの夫ですけど
今職場にしほりは居ますか？

えっ……
いない……そうですか

お忙しい中
申し訳ありませんでした
失礼します。

……あの画像は嘘ではない
受け入れがたい事実



またメールが届いた

写っている画像には
学生時代にみた懐かしい
笑っている姿のしほりだい

いつ以来の微笑だろうか
心の底から楽しんでるのだろう
まるでデートの様だ

俺だけが知っている笑顔を
あの男が知っていた

胸中の嫉妬と裏切られた怒りに
吐き気を催す



新たなメールが届いた
次は画像ではなく動画の様だ

嫌な予感がする
ただの食事だけならいい
それだけなら

もしも、それ以上の事があれば
覚悟を決め
震える手で再生し
願った

頼むしほり……!




今日は相談乗ってくれて
ありがとう

いえ、こちらこそ
何だか愚痴ばかりで
それにこんな格好で
高級料理店に来てしまって

そんな愚痴だなんて
シホりさんの話は
実際に参考に
なりまして
その様にシホりさん
はどの様な恰好でも
美しいですから
気になさらずに

そう言っていたら嬉し
いです





男は妻を体に引き寄せ
顔を近づける
まさか、妻とキスをするつもりなのか

じほりさん

えっ

妻は戸惑いながらも
突き離そうせず
身構えてるだけだ



んんっ!

ちやぶちやぶ♡

びんっ

いきなりの接吻に拒みもせず
妻の顔がうっとり惚け
潤い目になっていく



妻は顔を閉じ
完全に受け入れ態勢になった
口の中では舌と舌が絡みあっているだろう

あっ…んんっ…



ちゅっ
いっしょっ

ちゅっ
ちゅっ

んん

はぁ

どうですか？
キス気持ちよかったですよ

よく
わかりません

怒りも見せず
満更でもない妻の表情
完全に受け入れたので
この男の行為に対して

…次、
会う時まで
あの水しっかり
飲んでおいてくださいね

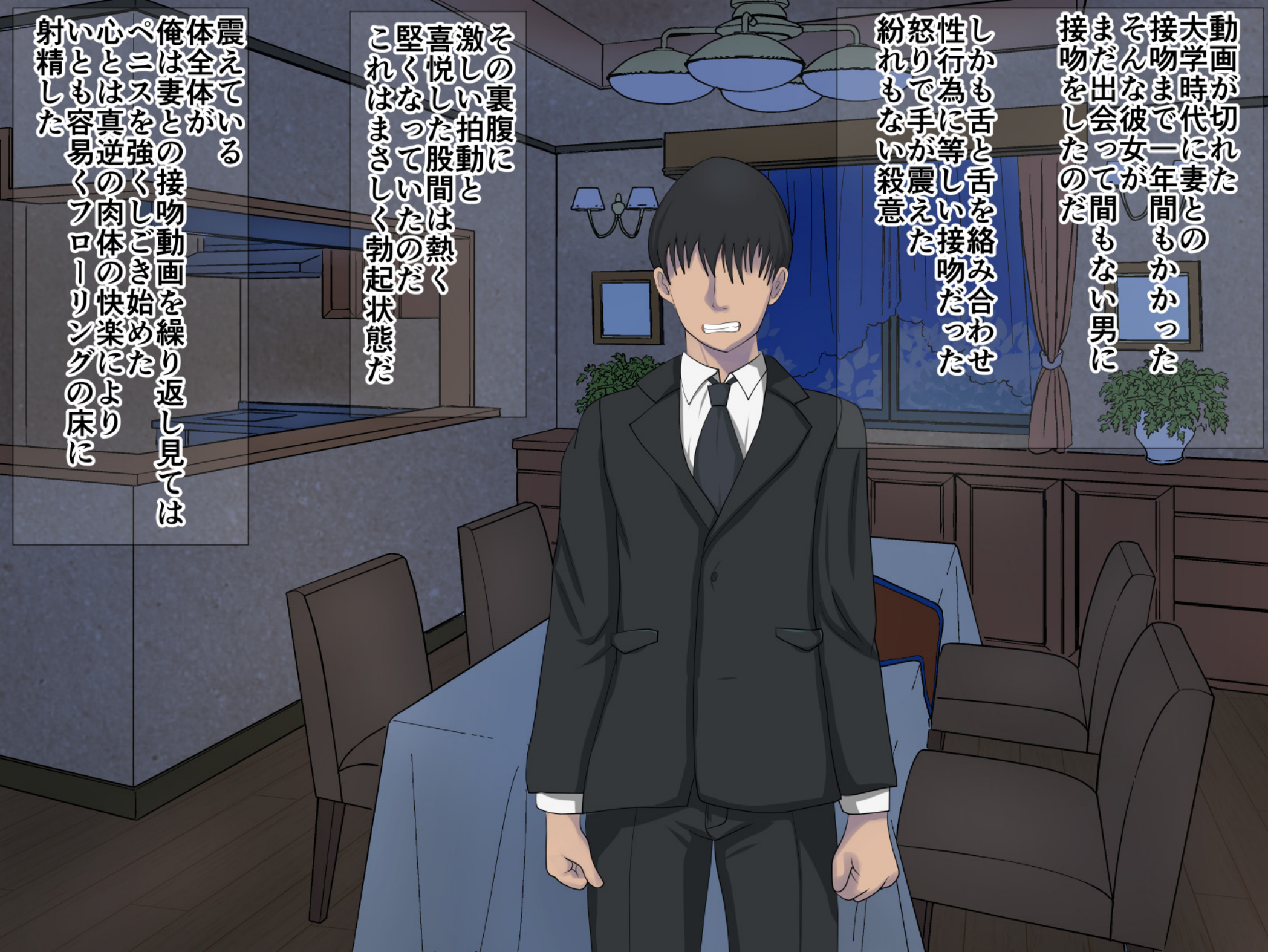


動画が切れた
大学時代には妻との
接吻まで一年間もかかった
そんな彼女が
まだ出会ったのだから
間もない男に
接吻をしたのだ

しかも舌と舌を絡み合わせた
性行為に等しい接吻だった
怒りで手が震えた
紛れもない殺意

その裏腹に
激しい拍動と
喜悅した股間は熱く
堅くなっていたのだ
これはまさしく勃起状態だ

震えている
体全体が
俺は妻との接吻動画を繰り返し見ては
ペニス強くしごき始めた
心とは真逆の肉体の快楽により
いと容易くフローリングの床に
射精した



ただいまー
あら？
あなた！？



あなた
どうしたの部屋暗くして

あ……おかえり
一人で映画見ててさ雰囲気作りだよ

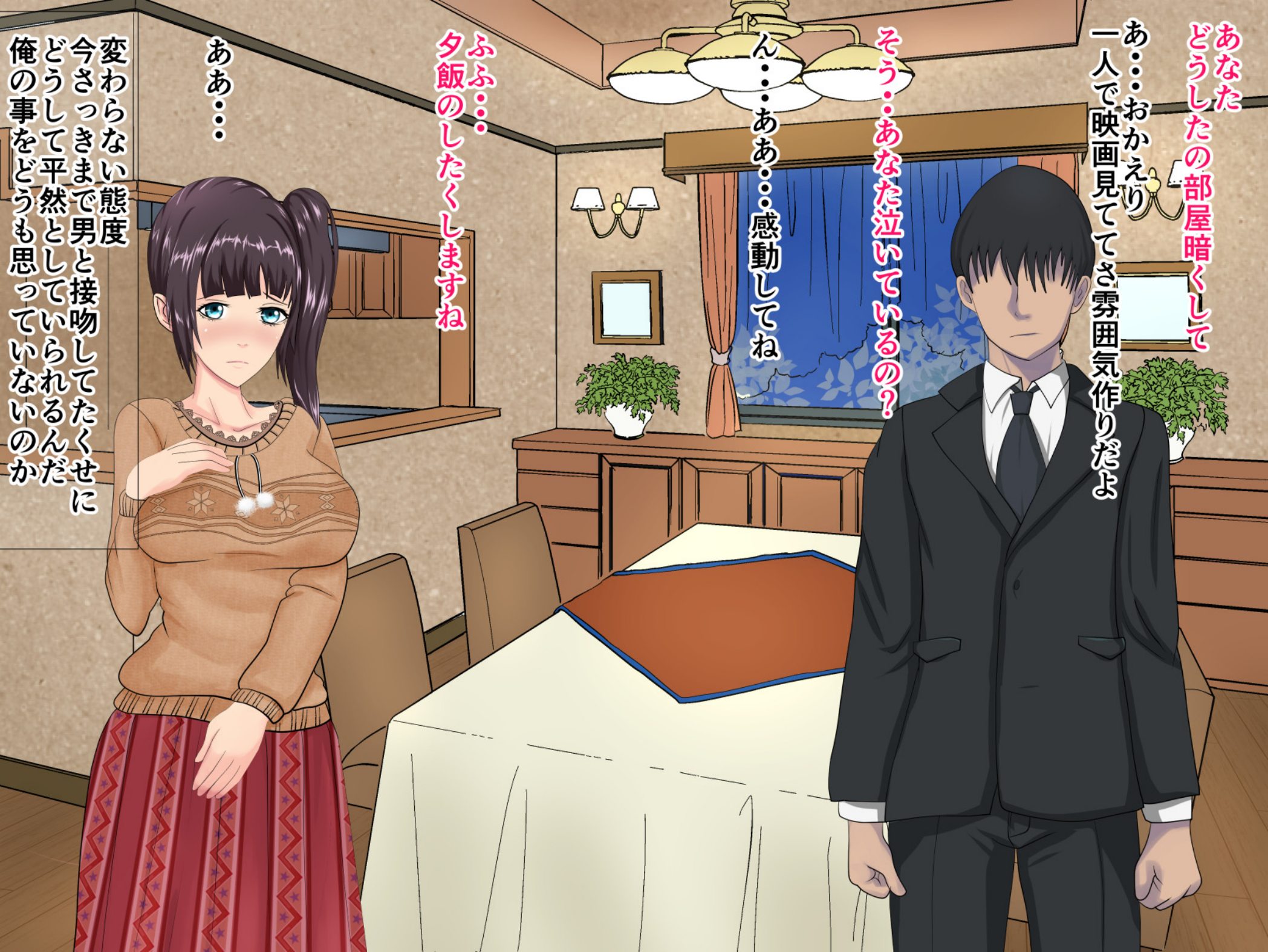
そう……あなた泣いているの？

ん……ああ……感動してね

ふふ……
夕飯のしたくしますね

ああ……

変わらない態度
今さっきまで男と接吻してたくせに
どうして平然としていられるんだ
俺の事をどうも思っていないのか



嫉妬でイライラしてしまいが
シホリに悟られてはいけない
俺が浮気しているだろと
問いたただすのはルール違反だ

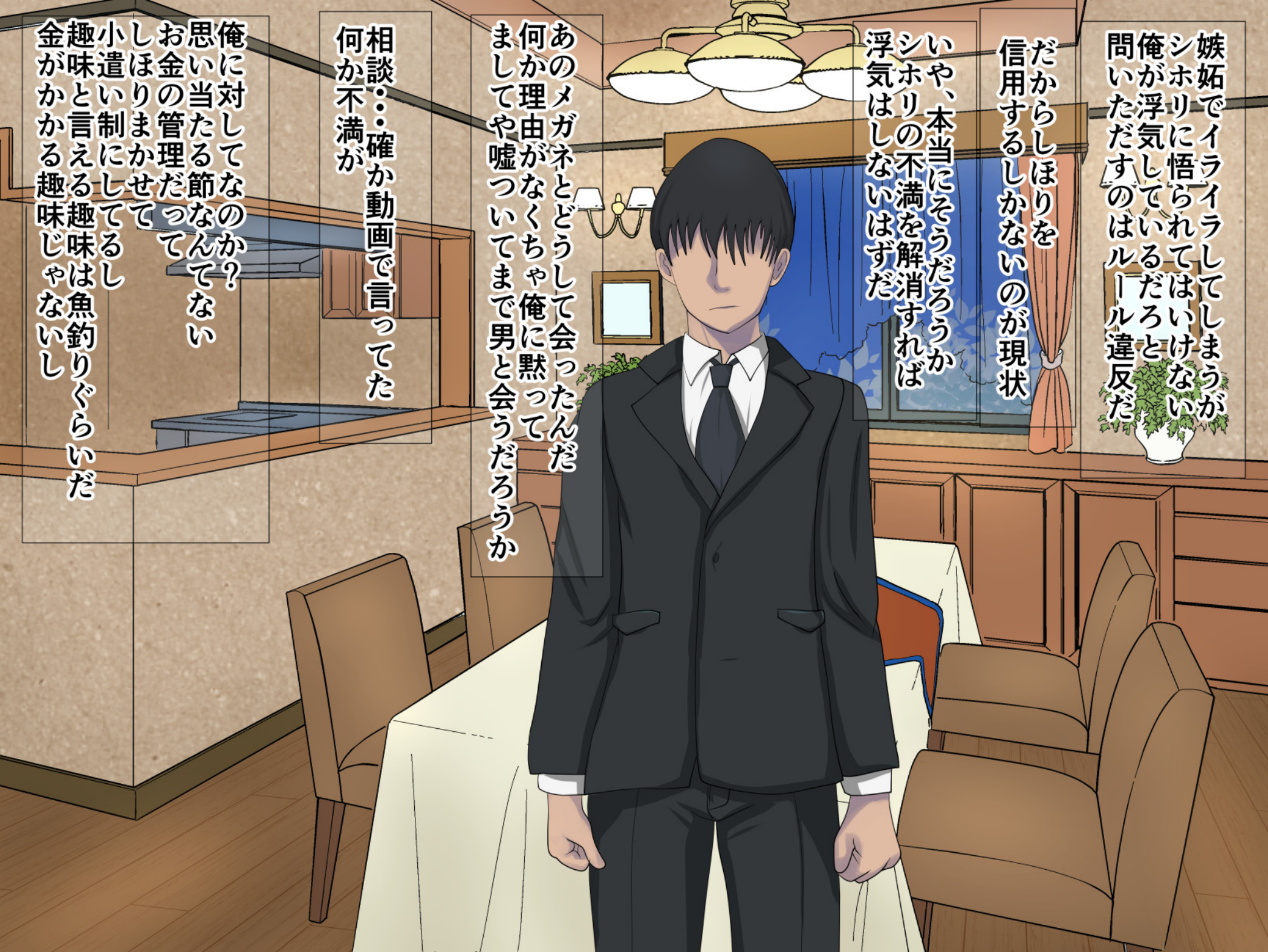
だからしほりを
信用するしかないのが現状

いや、本当にそうだろうか
シホリの不満を解消すれば
浮気はしないはずだ

あのメガネとどうして会ったんだ
何か理由がなくちゃ俺に黙って
ましてや嘘ついてまで男と会うだろうか

相談：・確か動画で言ってた
何か不満が

俺に對してなのか？
思い当たる節なんてない
お金の管理だつて
しほりまかせて
小遣い制にしてるし
趣味と言え趣味は魚釣りぐらいだ
金がかかる趣味じゃないし



何かお悩み事ですか

いやつまあ
人間関係についてな考えていて

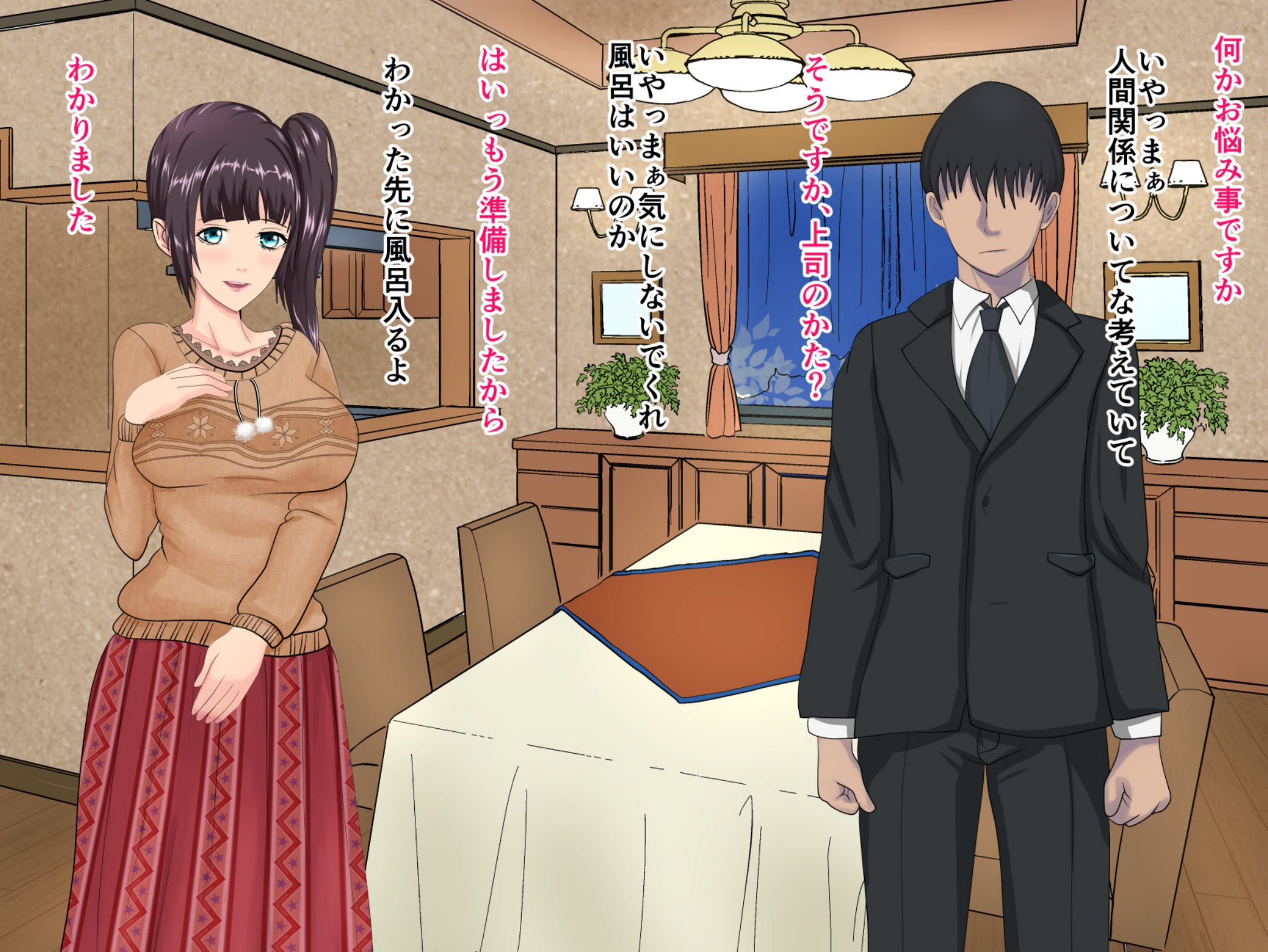
そうですか、上司のかた？

いやつまあ
風にいいの
風呂はいいの
か
気にしないでくれ

はいっもう準備しましたから

わかった先に風呂入るよ

わかりました



日曜日
あれから相談について
考えていたが何も対策なく
この日が来てしまった

志保理どうしたんだその格好は

えっあの友達とこれから
夕食会があるから

嘘だとわかってはいるだが
止めることはできない

そうか気を付けて行っておいで

はい、行ってきます



俺は待っていた何時間も
同じ姿勢でメールが来るのを
待ち構えていた

あたりが真っ暗になったのに
気が付いていた
日が暮れていた

まさか
あの男とホテルに行ってるんじゃないか
今頃セックスしてるんじゃないか

志保理
そんなわけない
俺の思い違い

じゃあ
あのキスは何だ
あのキスされた志保理の顔
うっとりしていた

じゃあ
やっぱ
セックス
してるんだ

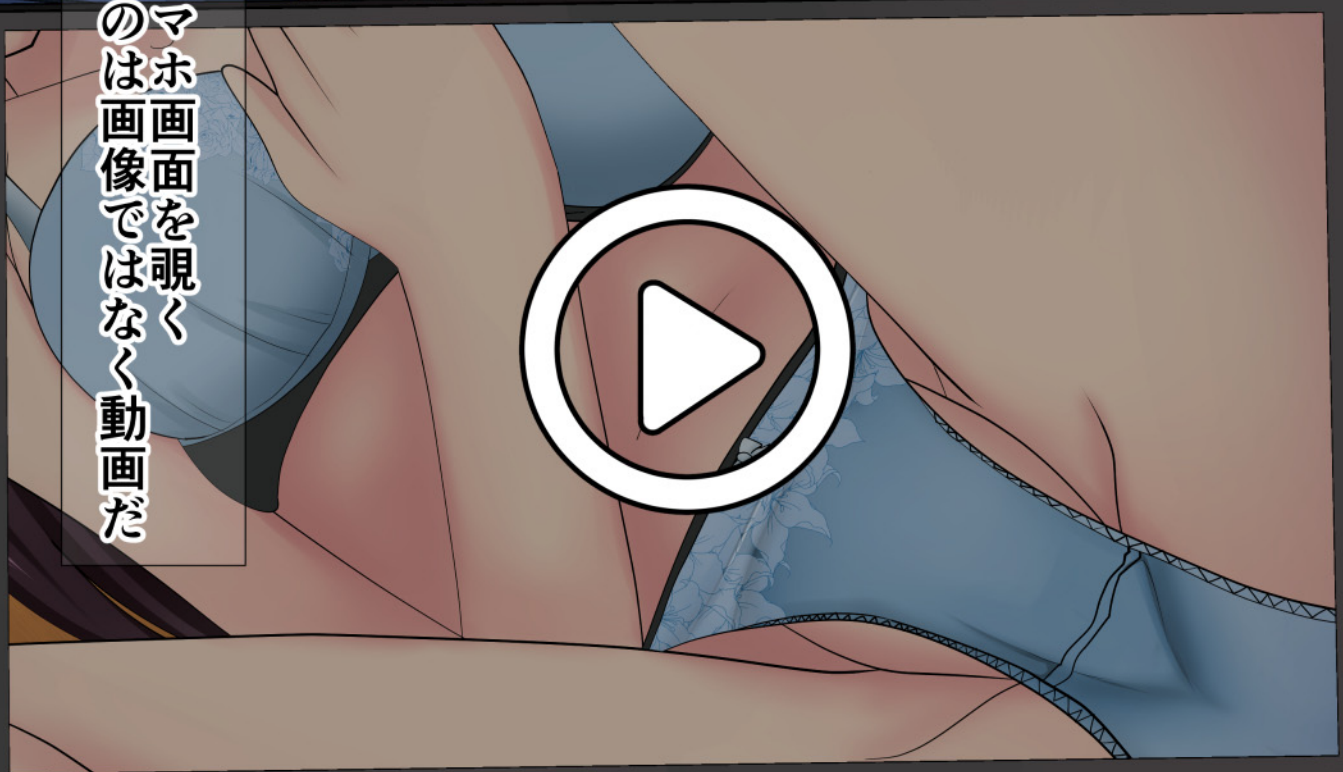
11時だもん
してるんだよセックス
俺以外の男と今頃
セックスしてるんだ
しっしほりい……

ぶるるる

うああああ

スマホから着信で
奇声をあげてしまった

まさか嘘だ
こんな時間に



俺は恐る恐るスマホ画面を覗く
添付されてきたのは画像ではなく動画だ

そんな嘘であってくれ
しほりい……

再生するかそれとも
見ぬふりをするか
だが、それは直哉が作った
ルール違反になる

結局のところ見るしかないのだ
深呼吸し動画を再生する



映し出されたのは
紛れもないのは
下着姿のシホリ

だって私
夫以外の人とは

シホリと初めて結ばれた日を
思い出す
あの日も顔が強張ってた

良かった実は僕も妻以外とは
したことがないんだ

そうだったんですか

ああ、実は妻にも
内緒にしてることなんだ
僕とシホリだけの秘密がまた
出来てしまったね

私たちがだけの……秘密

動画で納め俺に見せたことで
秘密でも何でもない嘘八百
直哉は女慣れしているのだろう
二人だけの秘密
女性はこの言葉に弱いのだ
ヤリチンの常套手段だ

トクン

トクン

男はショーツに指をこすり始めた

やあ、……っ……はあうう……

妻の悶える声かそれとも怖くて緊張して出した声なのかセックス嫌いの妻だもしかしたら逃げ出すのではないか今は妻を信じることしかできないか

緊張してるの？大丈夫僕に任せて

でも……

ほら濡れてきたあの水の効果だ

ぐく

ひっっ

くに

じわな……

くに

何を言ってるそれは生理反応だどんな女性でも濡れる恨み節でつぶやく

ひん

妻の股間があらわになる
俺の時より濡れている？
いや、そんなことはない
秘部を布越しで
さすっただけで

シホリのここ
とても綺麗だよ

恥ずかしい

ハァハァ

ひく
ひく



シホリの陰部を
指でこすり始めた

んん、
んん、
はっ、
はっ、

久しぶりに聞いた
シホリの喘ぎ声
男の指で突起してる部分を
容赦なくこする

ネコみたいな甘える声

んんあ、ひゃああ、

妻はこんな嬌声を
出したことが
あったか？



んん、

んん

んん

んん

んん

んん

満足したのか指の動きが止まった
男の指にはシホリの粘液絡みつき
糸を引いていた

こんなに感じてたんだ
嬉しいよ

無言の妻
こんな糸を引くほどの
愛液をたらし事が無い
もつとみずみずしくて
粘りはすくなかった
なのにこの男の指で感じ
粘着性の愛液を噴き出している

妻はそれに気付いているのだ
夫とは違うと……夫の指より
気持ちいいと……



もっと気持ちよく
させてあげるからね

ひゃんっ

男のなめらかな指が
膣に入る

妻に何をやるきなんだ
やめるよ
これ以上シホリを
いじめないでくれ

グチュ

びく
ん女っ

びく



シホリの弱点みつけた
ここでしょ

やっ、やだ
あっ、んんっ
なんで、気持ちいいよ

喘ぐしほり
シホリが感じてる
結婚して4年もなるのに
初めて見る妻の喘ぎと感じてる顔
こんな一面を見せるなんて
男として旦那としての敗北感



男の腕がバイブの様にうねる

妻もそれに連動して
喘ぎ声が震え
初めて味わう快感に恐れていた

だめえっ
なにかきちやうのおお
あああ：！！
いやあああ！

「おんっ」

「ビュ」

「ビュ」

「ビュ」

「ビュ」

秘部から漏れ出す大量の液体
ガクガクと
体が震えてきている

快樂波が下半身から
押し寄せてきているのだ

手を抜くと
黄色く混じった
体液を放出してる

妻は痙攣しながら
尿を噴き出してしまったのだ

クワクワクワ...

ブルブル
クワクワクワ

だめえ、見ないで
はあ...あ...

ブル



うっとり惚けたシホリの顔
初めて体感じただろうオーガズム

あああああつ

ハア


ハア

俺にできなかったことを
この男はたった
一回で成し遂げてしまったのだ

ひん

ひん

ひん



驚いてる表情を
上を見上げるシホリの姿

何を見てるのだろうか

しほり
今度は僕のも気持ちよくしてよ

はっはい

何を見ていたのか
理解した

男のペニスは
俺のより数倍でかい

妻が驚くのも
無理はないサイズだ

どうしたの目をそらして

その…
こんな大きいの
初めてで

ギニ

ギニ

大丈夫こわくないよ



はむっ

がぶ

ちゅっ
ちゅぶ

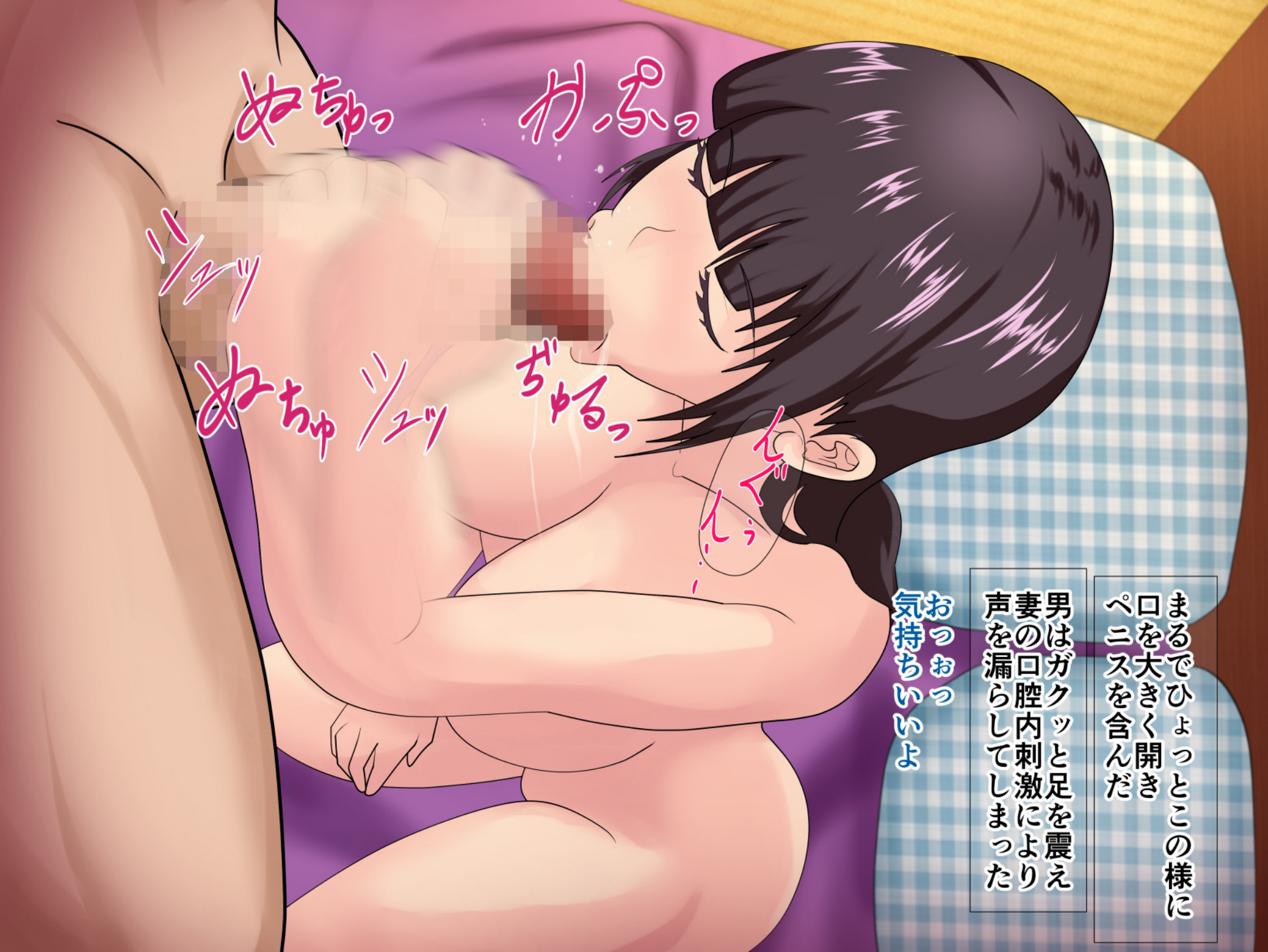
んふっ

ふぁいっ

うん、いいよ
そのまま手でしごいて

少しぎこちなく
慣れてないのは
目に見えて明らかだ

はむっちゅっちゅ
ぷくりとした唇が
ペニスを挟む



ぬちゅっ

わふっ

いっ

ぬちゅっ

ぢゅるっ

いっ

おっおっ
おっおっ
気持ちいいよ

男はガクツと足を震え
妻の口腔内刺激により
声を漏らしてしまった

まるでひよつとこの様に
口を大きく開き
ペニスを含んだ



ふあああ！

んんっ

びん

妻目掛け止め処なく
噴出する大量の精子が
妻の全身に降り注いだ

はあはあ
意外と大胆なんで
少し驚いたよ

ごっごめんなさい
舐めてるうち
直哉さんのおちんちんが
だんだん可愛く
愛おしくなってる

これも水の効果だよ
変な事じゃない

どろー
ビーン
ビーン

ペニスが愛おしいなど
俺は一度も
言われたことがない
今まで閉じ込めていた
妻の性欲が
直哉によつて
こじ開けられたのか
解放されたのか

妻はベットの横たわり股を開き
正常位の受け入れ態勢になり
交尾の準備を済ませた

しほりさん
それじゃ入れるけど
いいね

…はい

心配しないで
水の効果は絶対だから

妻は拒みもせず
すんなりと了承したのだ
信じられなかった
俺の事は何とも思っていないのか
罪悪感すらないのか
俺は妻に対しての
怒りが込み合がる





んっ

ピクッ

ッブッ...

男のペニスが妻の割れ目に
ゆっくりと潜っていく

まだ会って間もない男に
体も心も許す妻

貞操観念もない
単なるビッチな女
裏切られた気分で
胸が張り裂けそうになる

肉棒がシホリの中に
挿入される

二人は繋がってしまったのだ
初めて受け入れる
夫以外のペニスに
少し苦悶した表情

…っ!
うっうぐ…うっ!
どうしてだ、
どうしなんだよ
シホリ

怒り苦しみ嫉妬に悲しみる
あらゆる感情が沸き上がる
世界で一番愛してる妻の
裏切りの行為を見せられながらも
俺のペニスは反りたち
ズボンの上からシミが浮き上がるほど
我慢汁が漏れ出していた

ヌプププ...

ひゅっ

んっんっんっ
んっんっんっ

びく

びく

ゆっくりと腰を打ち付ける
その動きは素人の様な
ぎこちなかった
下手くそと漏らしてしまうほど

だが妻の反応が意外にも良好だ

はあんっ…んんっあっ!

気持ちよさそうに喘ぐ

ヌチュ

ヌチュ

ヌチュ



男の腰打ちはスローセックスだ

しほりの膣内は旦那の洋介に慣れているためシホリのおマンコはデリケートで太く堅く長い直哉のペニスを激しく打ち付けると痛みを伴う可能性が高く

そのため直哉のペニス馴染ませるためカリとヒダをコリコリとゆっくりと優しく刺激し

シホリの反応を伺いGスポットを見つけポルチオをペニスでゆっくりと押しつぶす

ふああっあ、はああんんっ

シホリの声は明らかに変わりつつあった

あんんん

コキュン
コキュン

アアア

アアア



巧みな腰使いに
シホリの声音が躍り
嬌声が部屋に響く

ひっああつ
ああっああああん、やああ

ああっしほりさん凄いよ
こんなにも
僕のペニスで感じてくれて

あっああ、直哉さん
直哉さんやああ！
きちやううううう

だだだ

ピク

ゴツ

ヌ

チュ

ゴツ

ゴ

ピクピク

グ

潮を吹いたのと同時に
男もペニスを引き抜き
大量の射精を噴射した

んん

ド

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ



おれ

はま

はま

二回目だというのに
大量の精子を浴びたしほり
全身が痙攣しているシホリ

はあはあ
すごい…こんなの…
あっはっ…ああ…

シホリの割れ目はぽっかりと
穴が開き膣肉はひくひくと
収縮し初めて悦びを
味わっているようだ

俺は妻の豹変を
ただ眺めてることしかできなかった
手で触れたわけでもないのに
ズボンは精子で濡れ
情けなく虚しさで
涙を流してしまふ

どい

ろお



場面が変わり
先ほどのセックスと
打って変わり

男の腰使いが激しく
妻しほりに叩きつけていた

んひいひひぐううう
ひぐううう

妻もまた甲高い声をあげた
足らを絡ませ離さなかった

ん
ん
ん

ん
ん
ん





感極まる声
何度目かわからない絶頂を
相手に宣言した

しほり気持ちいいか？
僕のペニスが気持ちいいか！？
ふぎいいい
いいの！すごいおいのおお！！
またいつちゃうのにおお！！

がっ
！！

ぐぐぐ
ううう

ぱー
チュニ

ぱー
ニ

チュニ

ぱー

ぱー

ぱー

ひぐううううううう!!

絡めた足を締め付け
全身が痙攣する
男の腰は止まり
膣肉の蠢動により
ペニスを締め付けていたのだ

びん

ひくっ

びん



幾度も絶頂を迎えたシホりは
気絶してしまっただろうか
白目をむき恍惚した表情だ



シホりなんて顔をしてるんだよ
そんなにあいつのペニスが良いのかよ
妻に對しては、果てた表情を打ち砕くには
申し分もない
許せないの感情は直哉ではなく
この怒りの感情は直哉ではなく
妻シホりに對してだった



ただいまー

シホリが帰ってきたようだ
裏切られた怒りを抑え
妻が居る玄関にまで足を延ばす



おかえり
遅かったね

ごめんなさい
ちよつと酔って
道がわからなくなったの

そうなんだ
友達と居たんだ

うん



友達と居たわけないだろ
女の顔して帰ってくるなんて
もう見えてるんだよキスマークがさあ
何か所も
キスマークついてるの見えるんだよ
それに匂いがシャワー浴びて帰ってきました
感がある匂いしてさ
あんな男とセックスしいやがって

妻は日頃と変わらない平然としてる
どうやったたらそんな顔ができるんだ
俺は知ってるんだぞ
お前があつた男に抱かれて
善が知ってるのを
俺は知ってるんだぞ！
ネコかぶりやがって
この淫乱ビッチ糞女め！！

きゃあ
なにをするの!?

しほり良いだろ
なあ

